

原発輸出という不誠実

～ありのままのベトナムをみること、そして私たちの責務～

日本が建設協力パートナーとなってベトナム中南部のニトゥアン省タイアン村で計画されている第二原発では、日本からの輸出に向けての準備が着々と進んでいます。

しかし、ベトナムは政治的には一党独裁で、言論や集会の自由は制限されています。多くの知識人が原発導入に反対の意思を持っていますが、ネットを通じての署名活動すらも弾圧を受けて中止に追い込まれています。

日本国内で原発政策の根本的な見直しが進められるなか、アジア各国に原発を輸出して行くという姿勢は不誠実としか言いようがありません。ベトナム事情に精通し、原発輸出問題にも積極的に発言を続けておられる伊藤正子さんをお迎えして学習会をおこないます。

ベトナムへの原発輸出の問題点について共に学び、私たちにできることを一緒に考えてみませんか？

6月9日(日)

14:00～16:30 (13:30 開場)

場所：エルおおさか 5F 研修室2 (72名)

(地下鉄谷町線・京阪 天満橋駅から徒歩 300m)

講師：伊藤正子さん (京都大学・ベトナム現代史)

参加費：500円



主催：ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン
連絡・問い合わせ 080-6174-8358(佐藤)